



上 政 策 第 8 4 号

平成19年 5 月 9 日

国土交通省道路局長 様

上ノ国町長 工 藤



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあったこのことについて、
別紙のとおり回答します。

政策室 疋田

Tel:0139-55-2311(内線335)

Fax:0139-55-2025

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・医療圏域内の交通アクセス時間を短縮（交通ネットワークの整備）

地方の医療機関は、医師不足や運營業務の効率化のため専門診療科の縮小が行われており、これは公立病院も同様な状況となっています。このような状況下において、救急医療体制を考えた場合には、特に産婦人科や小児科など弱者に対応した診療科が二次医療圏（上ノ国町は、南檜山に属する）には皆無な状況にあり、医師などの確保だけでは解決できない問題もあることから、三次医療圏域内（上ノ国町は、道南に属する）を1時間以内でカバーできるように、都市（函館市など）と地方との交通アクセス時間を短縮するような道路整備を実現していただきたい。

- ・地域の観光資源と一体化した道路空間の実現

多くの市町村には、「道の駅」が存在し、駐車場やトイレなど現在の車社会には欠かすことのできない施設が国道沿いに配置され、有効に活用されています。

また、シーニックバイウェイ事業により、地域住民等と行政が連携して、美しい景観づくりや魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを実践しています。

しかし、地域においては国道沿いに点在する昔ながらの観光施設（文化財など）においては空地の確保が困難で、駐車スペースを確保できないケースも見受けられることから、今後は、前述の事業などをソフト事業のみではなく、ハード事業においても支援され、地域の観光資源と一体となった道路空間を実現するよう希望します。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・地域間格差にあった効率化

地方は人口密度が低く、利用率重視のコスト計算では都市に比較して投資的効果は小さくなるのは当然な結果であります。都市と地方との公平性を保つためには、逆に都市と地域の格差を考慮した効率化を図るべきではないでしょうか。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

- ・国道及び地方道の協同管理

道路管理を効率的に行うためには、区域内（例：市町村単位など）の全道路を同一管理者（例：市町村長）が管理を行うことがもっとも効率的であります。このためには、国道の維持管理を市町村（又は道）などに権限委譲（費用も含め）するような施策を検討してはどうでしょうか。

- ・高度情報化社会への貢献

地方での高速データ通信網は整備に多額の費用が必要となることから思うように進んでいない現状にあります。このような中、国道においては、情報ボックスの整備が相当進んでいる状況にあると伺っています。

現在でも有料による利用は可能ではありますが、施設の有効利用のため公共団体等が利用する場合には、無料で利用できるように取り扱いを希望いたします。